

1. 件名：「志賀原子力発電所 2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（66）」

2. 日時：令和5年2月15日（木）16時00分～17時57分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：小田常務執行役員、藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年2月9日提出済>

- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・地質構造】
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料 (1/2)
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料 (2/2)
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 敷地の地質・地質構造について 参考資料

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	はい。お疲れ様です。原子力規制庁の大井です。
0:00:11	それでは時間になりましたので北陸電力とのヒアリングを始めたいと思います。
0:00:17	本日は、敷地の地質地質構造ということで、2月9日のですね資料、
0:00:25	提出の資料を使ってご説明をお願いします。
0:00:29	ともにですね、変更箇所、
0:00:32	本店を中心にご説明をいただければと思いますよろしくお願いたします。
0:00:43	はい。北陸電力の坪井です。本日はよろしくお願いたします。
0:00:47	まず初めに資料の確認をさせていただきます。
0:00:51	本日は6点ございます。
0:00:53	内訳としましては、本資料、コメント回答資料、補足資料が入札参考資料、コメントリストとなります。
0:01:02	本日は、前回、1月26日のヒアリングでの事実確認の内容を含めて、全体としてわかりやすくなるよう、資料内容の充実化を図っておりますので、主な前回からの主な変更点についてご説明いたします。
0:01:16	説明は全体で15分程度を予定しております。
0:01:20	それではまず、本資料における変更点についてご説明いたします。
0:01:25	すいません北陸電力藤田ですけども。
0:01:28	規制庁さんの映像がちょっと、
0:01:30	今見えない状況になってまして、
0:01:34	こちらの方で届いてますでしょうか。
0:01:37	ノダですけど音声届いてますし、
0:01:41	御社の映像は、
0:01:43	土肥、見えてますけど、どうですかこちらの映像届いてないですか。
0:01:49	ですのおばさんがちょっと、
0:01:52	しゃべってる声は聞こえるんですけど映像が届いてなくて、
0:01:58	映像自体が切れる前が何か細切れみたいな映像が届いて、今、全く見えなくなったという状況になってますんで、
0:02:07	ノダですけど、藤田さんありがとうございます。そうですねちょっと、1回調整しようと思いますんで。
0:02:14	少しちょっと待ってもらっていいですか。
0:02:18	こちらもう一度立ち上げ直してもよろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	オダですけど、はいわかりましたじゃちょっとお互いに立ち上げ直して、
0:02:27	みましょうか。
0:02:39	東京支社の谷口です。私の方からは両方音声も映像も映えております。
0:02:45	ノダですけタニグチさんありがとうございますタニグチさんの声、規制庁の方届いています今、規制庁の方、立ち上げ直してますのでしばらくお待ちください。
0:02:58	申し訳ないですよろしくお願いします。
立ち上げ直しのため、一時中断	
0:00:06	クラブ連絡済みです。本日はよろしくお願いいたします。
0:00:10	それではまず、本事業における変更点についてご説明いたします。
0:00:15	まず本資料の4ページの方をお願いいたします。
0:00:23	こちら目次になりますけれども、左上に記載しております資料の概要を整理した、ローマ数字の1から3につきましては、前回のヒアリングでは、資料冒頭の6時までご説明させていただいておりましたが、
0:00:36	今回から6時後ろの方に移動させて目次にもこのように、この数字の1から3を追加しております。
0:00:43	次に8ページをお願いいたします。
0:00:48	こちらは敷地の地質地質構造の評価概要を1ページにまとめたものになりまして、参照と文章の同等及び5章の左下の赤字で示した評価結果の記載を修正しております。
0:01:01	3章については、重要施設と断層との位置関係を把握する理由として、将来の断層等の活動によって安全機能に重大な影響を与える恐れがあることから、としていたものを、
0:01:13	新規制基準の考え方の記載との整合性の観点から、
0:01:17	重要施設を将来活動する可能性のある断層等の露頭がないことを確認した地盤に設置しなければならないことからと修正しております。
0:01:26	4章については、評価対象としない断層は、評価対象断層に評価を大小ず代表させることを確認した上で、評価対象断層を選定したと記載を充実させております。
0:01:38	こちらの左下の評価結果につきましては、
0:01:41	敷地には震源として考慮する活断層はないと追記しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:46	また青字で記載している、附属①から④の説明資料を、次ページ以降に示しております、前回ヒアリング以降、わかりやすさの観点から図表の拡大や追加等を行い、内容を充実させました。
0:02:01	次に 17 ページをお願いします。
0:02:07	こちら補足⑦重要施設と断層との位置関係の主水路付近の詳細図でして、右下の※2の方に、K1、K6、K19、
0:02:18	B系24は、いずれの取水を接地面に分布しないと判断し、重要施設の直下にはない断層と判断したことを追記しております。
0:02:27	次に 24 ページをお願いします。
0:02:33	荒谷補足13、鉱物脈法による活動性評価にあたっての考え方の説明資料を追加しました。
0:02:41	鉱物脈法による活動性評価にあたっては、断層の最新活動面をし表す最新面を適切に認定し、最新面と鉱物脈との切り合い関係が明確な箇所での評価を行うことが重要であると記載しております。
0:02:55	次に 28 ページをお願いします。
0:03:01	補足⑥S1の活動性評価結果として、緑色で示した主たる根拠のデータについて、記載の追加をしております。
0:03:11	上載地層法では駐車場南東方トレンチの結論の緑下線部について、
0:03:17	S1の最新活動はH1a段丘堆積物の堆積以前であると記載していましたが、今回その後に、S1に後期更新世以降の活動は認められないと追記しました。
0:03:29	鉱物脈法や移行の関連する箇所についても同様に追記しております。
0:03:35	また右上の1号原子炉建屋底盤括弧で等観察の枠内に帯状火砕岩という用語がありますが、
0:03:43	これは1号建設時の調査の形、記載用語であり、
0:03:46	有識者会合の評価の中では、原文のまま記載しておりますが、米印の注釈として、現在の評価では、細節段落に対応することを追記しております。
0:03:58	次に 40 ページをお願いします。
0:04:03	6⑨敷地内断層と福田断層と破砕部性状の比較についてでして、
0:04:09	右上の表の緑分のように、
0:04:12	活断層という記載を震源として考慮する活断層で記載の適正化を行っております。
0:04:19	次に 41 ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:23	補足⑩敷地内断層と敷地周辺の広域的な検討についてになりまして、
0:04:29	前回ヒアリングでは、右上の図3の方に、連続性のない伏在断層という凡例を記載しておりましたが、
0:04:36	本図中に、連続性のない伏在断層はないため、凡例を削除しております。
0:04:42	また、下の図につきまして、図中の地形面及び福田断層の位置を今回適正化しております。
0:04:51	次に43ページをお願いします。
0:04:56	補足⑩に、評価対象断層の活動性評価結果の一覧表でして、
0:05:01	拘束法による評価を行った各薄片書く範囲における最新面及び最新ゾーンと鉱物脈との関係がわかるように記載を充実させております。
0:05:13	次に、4-13ページをお願いします。
0:05:16	飛びまして4-13ページになります。
0:05:23	こちらStep1切り合い関係による新旧検討の概要になりまして、
0:05:28	前回ヒアリングでは、ステップ1の検討に用いていないK4K5とK22の深部方向の断層分布に関する検討結果をホームページに示しておりましたが、
0:05:39	今回、その記載を、この4-13ページから削除し、
0:05:43	関連する資料を補足資料2.3-3。
0:05:47	断層の抽出結果括弧海岸部の方で整理しております。
0:05:53	次に4-36ページをお願いします。
0:06:00	評価対象断層の選定のまとめになりまして、
0:06:04	左上のまとめ冒頭部分の記載を充実させております。
0:06:08	評価対象断層の選定手順に基づき、隣接する断層に併走する小規模の断層の検討及び走向傾斜した破碎部の運動方向、
0:06:18	粘土状破碎部の運動方向の4項目のデータに基づく系統区分を行った上で、
0:06:25	ステップ1、記録関係による新旧研と、
0:06:28	ステップ2系統区分、断層規模、重要施設との位置関係による検討。
0:06:33	及び、ステップ3。
0:06:35	建設する断層との関係からの個別検討の三つの検討を実施し、評価対象断層10分を選定したと記載しております。
0:06:45	次に5-3ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:51	こちら活動性評価の方針になりまして、前回ヒアリングでは、このPあり、このページの後に、
0:06:58	評価対象断層 10 本それぞれの上載地層法及び効力法による活動性評価地点を整理しておりましたが、
0:07:06	この評価地点の説明は、各評価対象断層の活動性評価の冒頭にある方がわかりやすいため、今回それぞれの冒頭のページに追加しております。
0:07:16	例えばS1を0にご説明しますが、
0:07:19	F1の活動性評価の同等にあたる5-64ページをお願いします。
0:07:29	5-64ページの方に当該資料を追加しております。
0:07:34	以下のS _s -D6以下評価対象はその他のものについても同様に整理しております。
0:07:41	次に507ページをお願いします。
0:07:52	こちら左側に岩盤上限標高段サイズの抜き、左側に岩盤上に標高段サイズを示しておりますが、この向きを北が上になるように回転しまして、
0:08:04	その右側のシュミットネットの動きと統一しております。
0:08:08	次に5-282ページをお願いします。
0:08:19	この282ページ、このホームページと、次ページ、20ページの5番に認められる白色脈において、xやXRD分析を実施し、その結果を今回追加しております。
0:08:32	次に5-302ページをお願いします。
0:08:40	浦断層、兜岩沖断層と敷地内断層の連続性評価、連続性の検討になりまして、
0:08:48	真ん中の調査位置図に横線で記載している解析測線の位置はわずかにずれておりましたので、今回適正化しております。
0:08:57	また次ページに解析断面における模式図を示しておりますが、
0:09:01	これは図中の地形面及び副断層の位置を今回適正化しております。
0:09:07	今週における変更点は以上になります。
0:09:11	続きましてコメント回答資料をお願いします。
0:09:20	今度改造資料における変更点についてご説明いたします。まず、コメント回答資料8ページをお願いします。
0:09:31	こちらはコメントNo. 129の敷地の粘土鉱物の組成についてになりまして、
0:09:37	上の□の1ポツ目の2行目。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:40	の方に記載してある、丸C反応する領域とは、海域数は、そういうことであることを、追記しております。
0:09:49	次に 13 ページをお願いします。
0:09:54	コメント No. 130 の福村断層の粘土鉱物についてになりまして、前回ヒアリングは、上の黄色四角の後半に、敷地周辺一帯は同じような環境下で変質をこうむったと判断したと記載していましたが、
0:10:08	より具体的に、同じような温度環境下で変質をこうむったと判断したと記載しております。
0:10:15	またここで 4、同じような温度環境下とは、変質鉱物の生成温度に関する知見に基づけば 50 点以上であるということもあわせて記載しております。
0:10:25	次に 24 ページをお願いします。
0:10:32	こちらコメント No. 131 の S4、35 メートル盤トレンチのブロックサンプリングについてになりまして、
0:10:39	ホームページと次ページに、S4 が底盤からブロックサンプリング位置まで連続していることをわかる写真を追加しております。
0:10:48	コメント回答資料における変更点は以上になります。
0:10:52	続いて補足資料に関する変更点をご説明いたします。
0:10:56	まずは補足資料の 2 分冊のうち 2 分の 1 の方からご説明します。
0:11:00	補足資料の 2 分の 1 をお願いいたします。
0:11:08	まず補足資料の 2 分の 1 の 1.1-1-6 ページ。
0:11:13	1.1-1-6 ページをお願いします。
0:11:22	こちらのページですけれども、前回ヒアリングで、本資料において適正化しておりました敷地の範囲及び、このような記載につきまして、当該ページに反映できておりませんでしたので、今回適正化しております。
0:11:35	次に 3.1-1-5 ページをお願いします。
0:11:39	3.1-1-5 ページをお願いします。
0:11:53	こちら重要施設当初数量付近の断層との位置関係についてになりまして、
0:11:58	各断層が取水の接地面に分布するか否かの評価が明確にわかるよう記載を充実させております。
0:12:06	補足資料の 2 分の 1 については以上になります。
0:12:09	続きまして補足資料、2 分の 2 の変更点についてご説明いたします。
0:12:14	副主事分のみをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:21	補足資料 2 本目の 5.3-2-135 ページをお願いします。
0:12:28	5.3-2-235 ページになります。
0:12:38	こちらについては本ページ以降、破碎部中に認められた鉱物学の観察結果を整理しております、これらの鉱物脈に変位変形は認められておりません。
0:12:49	今回追加しましたのは、5.3-2 の 245 ページ。
0:12:54	と、5.3-2 の 248 ページ。
0:12:57	2 ページになりまして、
0:13:00	鉱物脈ではなく亀裂面に沿って風化変質したと判断したものにつきまして、参考として整理しております。
0:13:09	例としまして、5.3 年の 245 ページの S E S 6 のコアで認められた甲斐白色の変質鉱物についてご説明いたします。
0:13:19	上野 D-9.1 以降では、破碎部及びその周辺の亀裂面に沿って、甲斐白色の変質鉱物 A B C が認められ、
0:13:29	これらはその色調や当該箇所が地表に近い浅部に位置していることから、外されたと考えられます。
0:13:36	右上のコア写真の変質鉱物は、
0:13:39	破碎部と母岩の境界の亀裂に沿って分布していますが、
0:13:43	そこに引きずり等の変形が認められないことから、破碎部と母岩の境界の亀裂の方で切断されたものではないと考えられます。
0:13:52	右上のコア写真の変質鉱物 B は、
0:13:56	破碎部中の微細な亀裂面に沿って網状に分布しており、そこに変位変形は認められません。
0:14:03	この写真の変質鉱物、C は、破碎部周辺を断片中を亀裂に沿って分布しております。
0:14:12	以上の観察結果を踏まえ、変質鉱物、A、B、C は、いずれも亀裂面に沿って風化変質したものと判断しております、岡沢力はないと判断しました。
0:14:23	次に 5. 17-1-3 ページをお願いします。
0:14:28	5. 17-1-3 ページをお願いします。
0:14:41	こちら有識者会合の評価を踏まえた調査検討の概要になりまして、
0:14:46	3 マル目の方に、有識者会合で活動性が審議された S 1 及び S s 6 について、有識者会合時の評価、及び、有識者会合以降の追加検討に基づき、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	改めて後期更新世以降の活動が認められないことを確認したと明記しました。
0:15:04	次ページに、有識者会合における当社の評価、有識者の評価並びに有識者会合を示した今後の課題を整理し、
0:15:12	5. 17-1-5、6 ページ、この 2 ページには、
0:15:16	有識者会合時の評価及び、有識者会合以降の追加検討に基づいた、現在の S1S S6 の評価を整理しております。
0:15:27	資料の説明は以上になります。
0:15:34	はい。ご説明ありがとうございました。
0:15:36	それでは規制庁が、審査規制庁側から確認を行いたいと思います。
0:15:44	じゃ、
0:15:45	私の方から、
0:15:47	ちょっと 1 点確認させていただきたいと思います。まとめ資料の方ですが、
0:15:55	まとめ資料の取水炉のところで、
0:16:00	資料で言いますと、
0:16:04	本編本編の補足ですね補足の 3.1 の
0:16:10	1-2 ページのところで、
0:16:13	ですが、ちょっとこれ確認ですけど、
0:16:20	今回前回のヒアリングを踏まえてですね、
0:16:26	取水炉と
0:16:29	前回ですね
0:16:32	不確かさを考慮してという点について、少しもう少し理由づけを、に、
0:16:40	関して追記していただきたいということで少し正確に、その辺は各書かれているということは確認できましたが、
0:16:50	ちょっと一方ですね
0:16:57	3.1-1-2 ページの
0:17:01	二つ目のルーで、
0:17:03	系、また、計 17 の主水路とは離隔し、計 1820、21 及び 25 は主水路、深度付近には認められないことっていうのは、
0:17:13	これは本編の注釈にも書かれている内容ということ、追加して書かれている内容っていうのは、
0:17:19	あるんですけど、この
0:17:23	ちょっと確認ですけどこれってボーリング孔。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:27	の調査の結果この地質断面図上は、
0:17:30	水路付近には認められないということなのか。
0:17:34	その他の何か、
0:17:36	データから、
0:17:38	すべてのデータが基づいて認められないと考えられるっていうふうにか、されているかちょっと確認をさせてください。
0:17:50	北陸電力の木村です。
0:17:53	2丸目の、
0:17:55	計 1078、202125 につきましては、ボーリング調査の結果、水道新藤付近には認められないということを確認。
0:18:06	来たものでございます。
0:18:07	以上です。
0:18:09	といいますのも、過去の会合とか、今回で言うそうですね、
0:18:16	補足の
0:18:20	ですね、2-3-3 の 15 ページに、
0:18:25	この取水炉のスケッチ、
0:18:29	新野さん、すみません、補足の 2-3-3 の、
0:18:33	15 ページになりますが、
0:18:36	これは前回の資料からも
0:18:38	出すものと思いますけど、3-3。
0:18:47	15 ページだけじゃなくてすみません。補足資料の 2.3-3 の 15 ページだと思うんですけども、はいそうですね。失礼しました。
0:18:57	そこに取水炉の
0:18:59	スケッチで割れ目とか、そういうので
0:19:09	観察結果があるんですけど、これは
0:19:15	最終的には加味していないというふうなそういうことなんでしょうか。
0:19:21	北陸電力 1 社です。
0:19:23	とですね計 17 につきましては、この 2.3-3-15 ページの 1 マル目に記載しております、
0:19:31	括弧、最後に括弧書きで、修正スケッチの対応を確認した後に、計 17 想定現地スケッチ範囲外ということで、計 17 に関しては、ボーリング調査、
0:19:42	結果のみで対応を確認していると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:45	で、それ以外のものにつきましては、対応する可能性のある割れ目ですとか、
0:19:50	そういったものを加味して、取水炉まで届いていかなきゃいけないかという判断をあわせてしております。以上です。
0:19:58	はい。ご説明ありがとうございます。
0:20:01	それであればですね
0:20:04	補足や、本編資料の注釈にも書かれている内容については、
0:20:09	このですねます。
0:20:13	これだけだとですねちょっと過去の会合をちゃんと見てなかったり、補足までちゃんと見てない人にとってはですね、このスケッチ、
0:20:24	驚見スケッチのことまで少し読み取れないと思うんですが、ですのでできれば
0:20:32	この 2.3-3-15 ページだったりその前の、
0:20:37	破碎部の認定とかそういうところの紐づけていうのを少し、
0:20:42	つけていただけることは可能でしょうか。
0:20:47	北陸電力一緒です。
0:20:49	おっしゃる通り、ボーリング調査だけで判断資料断面自体はボーリング調査のため調査結果から書いてるんですけども、こういったことを加味して、判断していると。
0:20:59	ということですのでこの 33 ページの本編資料にもそれがわかるような記載に修正したいと思います。以上です。
0:21:07	はい。
0:21:08	ありがとうございますよろしくお願いいたします。
0:21:11	それ。
0:21:16	規制庁カイダです。ちょっと今の点で関連して確認したいんですけど、
0:21:21	2.3-3-15 ページの一番最後の丸見ると、
0:21:26	三つ目の丸ですね
0:21:29	小割れ目があったりしたとか横にはないけど下には割れ目があったとかそういったことで、
0:21:36	そういったの不確かさっていうところは今わかるんですけど、
0:21:41	K452021 は、
0:21:44	んなかった、割れ目すらなかったっていうことなんですけど、これは一応でも直下にあるっていうことで、評価しているというか抽出されてるんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:57	これちょっと、ひよっとしたら以前説明とあったんかもしれないですけど、
0:22:02	ちょっとここの状況について、何で
0:22:07	これを、
0:22:08	抽出したのかっていうところ、ちょっと改めて確認させていただきたいんですけども。
0:22:17	北陸電力の1社です。
0:22:19	えっとですね、当時のこの取水をスケッチの記載を見ますと、明らかに、
0:22:24	いわゆる断層といいますかcmというような記載がありましたのは、破砕部ABCと呼ばれる三つ。
0:22:33	破砕部だけでした。それらにつきましては基本法令名というような記載でして、
0:22:39	部分的にはこの終わりに対応する位置に断層の延長位置が来るということで評価をしております。
0:22:44	このK4K5K20K21につきましては、最低延長位置に、
0:22:50	SKEITCH上割れ目すら認められないんですけども、
0:22:53	実際、今で言うと固結した破砕部ですね、固結した破砕部に対応するものがあつた可能性というものは当時のスケッチからは読み取れないと。
0:23:02	ということで、
0:23:03	そういう不確かさも含めて、計4K5で29日については、深部まで、すいません取水を、設置位置まで延長している可能性があるというふうに評価をしております。以上です。
0:23:18	カイダです。わかりましたそういったところも、
0:23:22	当時の見方っていうのは今と、見方自体が違ってたんでそこら辺も含めて不確かさを、
0:23:29	考慮してっていうことでだったと思うんだと思いますのでその辺もわかるように記載をしておいていただきたいのでよろしくお願いします。
0:23:40	大栗B社です。承知しました。
0:23:43	今の記載は、この2.3-3-15ページ。
0:23:49	補足といいますか、その解釈の補強を補強させていただくという認識でよろしいでしょうか。
0:23:57	カイダです。2.3と-3-15はこれ
0:24:01	耐震重要施設の施設直下のは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:06	断層があるやなしやっていう話っていうよりは
0:24:10	江藤なんですかね。
0:24:12	抽出評価対象断層の抽出の中で、
0:24:16	何か副次的に出てきてる。
0:24:19	資料かなと思いますので、
0:24:23	今下にある間でてるか出てないかっていうところの評価。
0:24:28	宇津。
0:24:30	説明するところのページでお願いしたいということでなんですけれども、よろしいですか。
0:24:38	北陸電力藤田です。すいませんちょっとやはり音声がですね、少し小さくて、所々聞き取れないんですけど、こちらの方へ取れてますかね。
0:24:49	はい。そちらの方からの音声は非常によく届いてますけど、今、どうですか。
0:24:57	今、患者さんちょっとぐらいのレベルですとこちらでも聞き取れるんで先ほど
0:25:02	2.3-3-15に記載するかどうかっていう、イシダ他の質問に対してもう一度、
0:25:09	回答いただけないでしょうかよろしくお願いします。
0:25:12	はいカイダですわかりましたじゃまた、申し上げます聞こえなかったら言ってください。2.3-3-15。
0:25:20	の位置付けは、これは耐震重要施設とか施設とか、重大事故等対処施設の
0:25:28	直下に断層があるやなしやという抽出の説明の資料じゃなくてですね。
0:25:35	これは評価対象断層の選定っていうところの説明の一部として、副次的に出てきてる。
0:25:43	資料だと思います。なのでここに何かその先ほどの説明を加えていただくっていうのではなくて、
0:25:52	はい。
0:25:55	そうですね。先ほどはい、オオイが資料、説明追加してくださいと言ってたような施設との断層との関係の説明のところに、
0:26:07	入れていただきたいということです。
0:26:13	北陸電力石田です。承知しました。今ほどの先ほどの大井さんからのコメントもありました取水炉。
0:26:21	スケッチとの対応と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:24	確認を。
0:26:26	直して記載する上で、さらに、このひび割れですとか固結した破砕部を、
0:26:34	これは、実際のスケッチ上ではそこまでは読み取れないという不確かさも含めていると、というような記載を合わせてわかるような修正にさせていただきたいと思います。以上です。
0:26:45	はい。カイダですよろしくお願ひしますなのでスケッチも今の記載だとスケッチがあるや、あるかっていうことはどうもわかんなくて、
0:26:54	ボーリングだけで評価してるっていうにも読み取れるので、スケッチもあった上で、今ほどのご説明あったような評価をしているということがわかるようにお願ひします。よろしくお願ひします。
0:27:17	はい。カイダですけれども、引き続き、
0:27:21	ちょっと確認させてください
0:27:24	今、まとめ資料の方なのでまとめ資料でいきますと、
0:27:29	ちょっともう、ページ順になるかもしれないですけど 24 ページお願ひします。
0:27:35	今聞こえてますかこの声。
0:27:40	藤田です。聞こえてますけどやや小さめなので、できればもう少しマイクを近づけていただくか、ちょっと対応をお願ひできれば助かります。お願ひします。
0:27:52	はいカイダです。ちょっとここ、こっちのいる限りは普段と同じように、この中でスピーカーから聞こえてるんで、ちょっと意識しながら、お話します。
0:28:02	24 ページで
0:28:06	図 3、下の写真の下の方の図ですね。
0:28:11	ちょっと説明の書きぶりなんですけれども、
0:28:15	最新面と鉱物脈との切り合い関係が不明確な例というふうに、
0:28:22	書いてあるんですけれども、
0:28:24	これ鉱物脈との切り合い関係が不明確な例っていうふうに、
0:28:29	評価してるんだったかなっていうのが、
0:28:33	疑問で一応これ切り合い関係はちゃんと見えてるけれども、
0:28:37	実際、何で何かという上での、
0:28:45	三つ目の丸ですかね。
0:28:48	最新面が全体的に不明瞭とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:52	最新面を明確に認定できない例ということで、
0:28:56	切り合い関係自体は、これはちゃんと
0:28:59	明確なんだっていう評価だと思ってたんですけども、ここ表現として どうかなっていうのを確認したいんですがいかがですか。
0:29:11	はい。北陸電力驚見です。こちらのページ
0:29:15	ですけれども、まず 53 ページをお願いします。
0:29:26	先ほどの 24 ページにはこちらの 53 ページから抜粋して引っ張ってきた ような形になっておりまして、先ほどの全体的になりました最新面とコ ンセプトの機械関係が不明確な部分はこの
0:29:39	53 ページの左側と右側の対比として、この上に書かせていただいた言葉 になります。で、
0:29:46	こちら計算ですけれども、赤田さんおっしゃいます通り、
0:29:51	計算等、要は変質鉱物光沢との切り合い関係としては、明確に今日がで きると思っておりますが、最新面を明確に判断できないので、いわゆる その最終面と、
0:30:03	プロジェクトの関係が直接わからないという意味でこういう文章を書か せていただいておりますので、最新ゾーンですが、最新面を含んだ包括的 な範囲でしっかり攻略との関係は、
0:30:14	判断できるというふうに思っておりますので、ちょっとその辺誤解を招 くような文章になっておりましたので、その辺り修正をさせていただき たいと思います。
0:30:24	以上です。
0:30:26	はい、カイダですじゃあよろしくをお願いします。
0:30:29	そういう意味では図にも、今、切り合い関係が明確な例ということ。
0:30:34	書いてありまして、
0:30:36	多分図にも図 3 も一応切り合い関係は明確だと評価してますけど、
0:30:41	先ほどおっしゃったように、最新面が明確か明確でないかという。
0:30:47	不明瞭かなのかっていうところだと思いますのでその辺りちょっと、12 の
0:30:53	説明が機能の方も含めて、ちょっと
0:30:56	表現ぶりを修正してください。お願いします。
0:31:01	B R I C s です。はい承知いたしました。最終ライン、もともとこれ を作っていた後の 53 ページの方では、最終年がメールを移行する不明の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	マイクをするというちょっとそういう説明として使っていたところもありまして、
0:31:14	頭に持ってくる場合にそのまま持ってくると確かに、誤開ができますので、いずれも綺麗関係が明瞭で、
0:31:21	不明確であり、そのそれぞれどういう観点で明確なのかというところまでわかるように少し丁寧に書かせていただきたいと思います。以上です。
0:31:33	カイダです。よろしくお願いします。
0:31:36	引き続き、2-3 ページお願いします。
0:31:46	2-3 ページは調査位置図ってということなんですけれども、
0:31:51	調査位置図、これ他にも調査位置を示した図ってのは出てきてるんですけれども、
0:31:59	これ
0:32:00	大深度ボーリングとか、
0:32:03	反射法地震探査の測線ってというのは、
0:32:08	入っていないんですけど、
0:32:10	これはそういったものってというのは調査内容に入っていないって位置付けとしてちょっと違うもんなんだから入っていないってことなんでしょう。これ入っていないのは何か。
0:32:25	何か理由があるんですか。ほ
0:32:32	北陸電力1社です。
0:32:34	えっとですねこの調査ハイチーズに関しましては、いわゆる、
0:32:38	上の四角に書いてますけど断層、有無を確認するためということで、敷地内断層の抽出のための
0:32:45	ボーリングですとか、
0:32:49	トレンチ、
0:32:50	今後ちょっと悪化したような書き方をしております。実は大深度ブルーですとか反射法地震探査は結果として、
0:32:59	見られたり見られなかったりという結果はあるんですけども、そういう観点では、今の図に入っていなかったというところがございます。ただ、反射でも、測線S1に関するものが見られたりですとか、
0:33:13	大深度ボーリングについてはS E チーム方向がないというような結果もありますので、この調査位置図に含めた
0:33:19	机ることは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:22	正しいと思いますので、こちら反映させていただきたいと思います。以上です。
0:33:27	カイダです。わかりましたじゃ
0:33:30	この本資料も、あと補足にも、似たような資料、何、何ヶ所かありますので、
0:33:36	そこも含めて、
0:33:37	よろしくお願いします。
0:33:41	あとは、
0:33:50	あとちょっとこれ確認なんですけれども、
0:33:54	5-303 ページをお願いしたいんですけれども。
0:34:01	これあので、
0:34:02	断層の位置とかをて適正化したということで、
0:34:08	御説明あったんですけれども、これ
0:34:12	前の断層とか地形がちょっとずれてたとかそういうことで今、適正化されたということでよろしいですか。
0:34:25	同じです。
0:34:28	こちらですねそうですね前もお話しておりました資料で、少し何年がどこを取ったってということが不明確であったり、
0:34:39	ちょっと断層位置と、
0:34:43	感染症の
0:34:44	方ですね関係が、少し現実と合っていないということがございましたので、今回、改めて、前の、この 302 ページの方にですね、
0:34:54	何日をしっかり、
0:34:57	ここでとりましたと、いうことをお聞きいたしまして、そちらの方で、大変対応しまして、
0:35:03	最新の方に、ちゃんとそちらの段に、うちで直したということになります。
0:35:11	以上です。
0:35:15	はい。はいカイダです。わかりました。
0:35:18	ちょっと新しい本、今回出された方で見ると、
0:35:24	福浦断層っていうのは、
0:35:27	伸ばしていくと。
0:35:29	は、ある程度端っこの方にはなるんですけれども、
0:35:33	この

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:34	探査記録中農ん中に、入り込んでくるようにも、
0:35:39	配置になるんですけれども、
0:35:42	この辺は
0:35:44	どうなんすかないという、
0:35:46	ことなんですかね。ちょっとその辺の評価とか何か、
0:35:51	何かされてるんであれば確認したいんですけれども。
0:35:57	はい。北陸電力の小林です。こちらの
0:36:02	認識反射法断面における、福原安里の関係と、
0:36:06	いうことになります。やはり福田断層は今、地表付近でとらえてる一番測線外にあるということで、そこからちょっと新宮港まで連続的には、
0:36:18	作成の不凍ですので、ご意見ないという状況になっております。
0:36:24	少なくとも自体は、こちらのレベルで行っております。後半の承認、
0:36:31	こちらの式辞の支援を確保2丁目に関しては、
0:36:35	本社、販社の方のずれといったものはないということは確認できておりますが、ちょっと福田断層との関係というところまでは、こちら測線の端っこの方ということもありますし、
0:36:48	なかなか今、
0:36:50	F A C T A 6 というのは難しいのかなと。
0:36:53	いう状況です。以上です。
0:36:58	はいわかりました。カイダですわかりましたじゃちょっと端っこの方だからちょっと、
0:37:04	何かその辺の評価っていうのはちゃんとできないっていうそういう状況。
0:37:09	の説明だったと思いますんでわかりました。
0:37:13	で、ちょっとこの図を見た時にまたちょっと話は、
0:37:18	別の話になるんですが、ちょっと記載の統一等をしていただきたいなというところに気づいたので
0:37:27	お願いしたいんですけれども、補足2分の2。
0:37:33	もう、
0:37:38	5.17 の、
0:37:40	1 の、
0:37:44	違う違います。
0:37:45	1、5.17-1 の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:49	66 ページ。
0:37:52	5.17-1 の 66 ページ。
0:38:07	ここ。
0:38:08	見ますと、
0:38:12	S2S6 の高専が、
0:38:15	このさっきの本編資料の 303 ページと、
0:38:20	2 の補足資料の方とで、
0:38:23	わずかではあるんですけども、傾斜がちょっと違ってまして。
0:38:31	本編資料の方の方がちょっと、
0:38:33	見えてると。
0:38:35	補足のほうを見るともう、もうちょっと経ったような形で書いてあって、
0:38:40	この辺りは
0:38:43	どっちが正しいのかわからないんですけども、
0:38:47	まず学情ちゃんと評価されてる。
0:38:51	正しい記載に統一しておいていただきたいんですけども、よろしいですか。
0:39:00	クリニックの小林です。おっしゃる通り少し
0:39:04	経営者の方ができる部分がありましたので、こちらの方、しっかり確認しまして統一させていただきたいと思います。以上です。
0:39:17	はい。カイダですよろしく申し上げます。
0:39:20	引き続き、今のその 303 ページに出ている断面と今ちょうど、
0:39:27	同時に開いた。
0:39:29	5.17 の、その 66 ページの方なんですけれども、
0:39:34	これ S E S を食うのを、評価で深部に続かないんだと、というようなことで、
0:39:42	これは
0:39:44	例えば S E S 6 の、
0:39:47	全体評価っていうのが 5-313 ページ。
0:39:54	にあるんですけども、
0:39:57	この反射面の話っていうのは、この後の 313 ページを見ても、
0:40:04	特に
0:40:07	見当たらないような気がするんですけどこれは評価には特に使ってなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:13	補足情報ということの扱いなんでしょうかちょっとその辺の位置付けを確認したかったんでよろしくお願いします。
0:40:23	はい北陸でピーク電力の羽田です。
0:40:27	反射法ですとかV S Pの制度上、敷地内断層であります技術力を、直接この記録から、特に地下深部まで繋がるかどうかというのは、
0:40:39	正確には確認できておりません。
0:40:41	ただ少なくとも、
0:40:43	この花崗岩の常任変を歌えるような断層はないということ、この
0:40:49	もともと反射法ですがV S P探査の方では、記載するというので、こちらの方には書かせていただきましたが、
0:40:57	S s 6 の活動性評価のまとめとしては、
0:41:00	直接わからないということもありまして、
0:41:05	記載はしていないと。
0:41:07	というのが実情、現状となっております。
0:41:10	以上です。
0:41:12	わかりました。
0:41:15	活動性評価の直接の趣旨情報ではなくて
0:41:21	進ん参ってみれば補足的なものだということで今入ってないという、いうところは
0:41:28	確認できました。はい。
0:41:47	規制庁の宮脇です。
0:41:51	ちょっと今のカイダの
0:41:54	本編資料の5-303で、
0:41:59	反射法地震探査の、その端っこの方なんで解像度が低くて、
0:42:05	その関係が掴めなかったという話なんですけども、
0:42:10	通常反射法地震探査の場合は深部に向かってこの信頼できる
0:42:18	解析範囲っていうのは狭まっていくと思うんですよね。
0:42:22	その範囲を示してることが多いんですけども、
0:42:27	そういうのをこの図に、
0:42:29	しますことはできないですか。
0:42:39	いや、考えます。
0:42:50	あれ、聞こえて聞こえてますかね。
0:42:56	北陸電力の小林です。
0:42:58	江藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:01	ですね、こちらの反射法の断面ですね、重合数がどれくらいあるかとか、そういった観点で信頼性の方、ある程度確認はできるかと思imasuのでちょっとそういった観点で、
0:43:13	明示できるかどうかということを検討させていただきたいと思imasu。以上です。はいよろしくお願imasuします。
0:43:20	それから
0:43:23	補足の2分の2の布田です。すいません。ちょっと今の、かえって補足させていただきたいと思imasuますがよろしいでしょうか。
0:43:33	はい。
0:43:35	どうぞ。
0:43:37	この反射法とV S P 5-303 ページに掲載しておりますがその東橋の方も端っこということで、
0:43:46	若干精度が落ちるんですが、
0:43:49	我々としましてはこの加古川業務に黄色い線が引いてある範囲というのはある程度の授業数が確保できておりますので、
0:44:00	少し整理をやってるとはいえ、評価はできる区間というふうに考えております。
0:44:06	一方ですねこの福浦断層の傾斜、
0:44:09	今小宮に書いてありますが、
0:44:11	実際の地表、
0:44:13	500円あたりでも、傾斜しか与えられておりません。
0:44:18	実際この服練習がまっすぐ、この加工場の上限のところまで降りてくるかどうかはわかりませんし、
0:44:24	実際に福田断層の測線を見ますと、もう少し経っているようなふうに思imasu。そういったことから、記録の端っこということもありますし、福田断層の傾斜角がこの信号にどのように繋がっているかわからないと。
0:44:38	ということもあまして、
0:44:39	福田断層の評価を今後反射記録からはできないというふうに考えております。
0:44:45	その辺の記載を資料にわかるように、追記、
0:44:49	したいと思imasuしております。
0:44:50	以上です。はいわかりましたじゃあ、記載のほうを充実させていただくようお願imasuいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:34	野田ですけど、私からも幾つか事実確認させてください。
0:45:40	まず 21 ページ。
0:45:50	ここに
0:45:52	地形断面図があるんですけど、
0:45:54	これはあれですか、今やってる敷地近傍の、
0:45:59	調査との関係で、今後変更がありえますか。
0:46:22	北陸電力の小林です。
0:46:24	基本的にはですねこちらの方は、
0:46:28	こちらでの主張は、
0:46:30	中位段丘 I 面の段丘面内容が、いろいろあると。
0:46:35	いうことを主張しておりますて、
0:46:39	基本的には、
0:46:41	こちらで使ってる断面図は、変更がないものというふうに、
0:46:45	考えております。以上です。
0:46:50	ありがとうございます。はい、わかりました。
0:46:55	あとは、
0:46:59	36 ページ。
0:47:05	これ、
0:47:07	S4 の活動性評価結果で、
0:47:11	上載地層法等鉬物脈法があってですね。
0:47:14	鉬物京都の方なんですけど、今、8.60 孔と 8.50 孔、これ緑ということで、ここでは最も明確か明確じゃないかっていうことが、
0:47:28	示されていないんですけど、
0:47:32	例えば、
0:47:33	ごめんなさい 37 ページ見てもらおうねさっき、
0:47:36	37 ページの表だと、そこで、
0:47:41	緑の藤間区の方は、最も明確であると評価したデータっていうのが赤くなっている一方で、36 ページの方は、そこが明確に明確にっていうか、区分、
0:47:55	仕分けされていないんですけど、例えば、
0:47:59	こういう、
0:48:01	36 ページみたいな活動性評価結果のうち、神戸京都の方は、同じようにこの
0:48:07	8.60 孔のところ、赤く

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:12	縁取りをするというか、
0:48:14	囲むっていう、
0:48:16	ことは、御社は、
0:48:17	考えられていますか。
0:48:22	これ電力数名です。36 ページこちらのですね 37 ページと、
0:48:27	お示し方が違いますけれども、36 ページのこの E の 8.60 行が、個別メ イコーの最も明確に確認できるデータということはもちろん変わりませ んののでこちらもわかるように、
0:48:39	明記させていただきたいと思います。以上です。
0:48:43	スモリさんありがとうございますで、多分この、
0:48:46	36 ページと同じフォーマットが、
0:48:51	いろいろいろいろとか、結構出てくると思うので、できれば、統一的に
0:49:00	追記というか、
0:49:02	赤で囲ってもらえると助かりますというのは、
0:49:05	この 36 ページは、
0:49:08	我々も今後こう対外的に説明する時とかに、
0:49:12	使うんじゃないかなと思っていて、その時にやっぱり鉱物脈法でやった 中で、我々としても、活動性評価の、
0:49:21	根拠となるものがどれかっていうことを説明するときにはですね。
0:49:26	そういった、最も明確なデータはどれですってということが一目でわかっ たほうがいいかなと思っていたら、そういう背景でちょっと と今、事実確認をさせていただきました。
0:49:41	続いてですね。
0:49:43	38 ページ。
0:49:52	38 ページは、S O の活動性評価で、
0:49:57	コアの断層と上載地層の関係を見ていてですね。それで、まず確認した いのは、左側の方のスケッチですね真北面スケッチ。
0:50:11	これはおそらく、我々が現地調査で見てですね、それで
0:50:17	ちょっとこの、
0:50:18	真北面スケッチ、露頭では、
0:50:23	せん断面がよく、
0:50:26	見えないんで、
0:50:27	上載地層まで届いていないということで、活動性評価には使えないとい うことでこれは現地でも、コメントさせていただいて、で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:38	今回、今回というか、その後に、右側にある、掘り込み後のスケッチということで、こちらでS4が、藤上載地層との関係が、
0:50:49	見えるようになったということで、活動性評価に使えるんじゃないかと、ということなんですけど。
0:50:57	左側のスケッチで、S4の先端のところ、上載地層のところ、不明瞭なせん断面って書かれてるんですけど、
0:51:08	これは御社は、
0:51:11	おそらく、この左側のスケッチでは、
0:51:15	活動性や評価できないと考えて、
0:51:21	いた中で、せん断面自体はこれは上の方は、
0:51:25	見えていて、
0:51:28	一応不明瞭ながら見えてるってそういう、
0:51:31	一応、
0:51:33	評価をされているということですか。
0:51:38	北陸電力の木村です。折り込み前の赤点線で書かれた不良のせん断面の意味なんですけども、
0:51:49	我々の観察で、せん断面は、
0:51:54	あると、評価したわけではなくて、
0:52:00	このS4の、
0:52:01	延長位置の両側で岩相が異なるということから、この岩相境界に、
0:52:10	不良がせん断面があるのではないかとというふうに推定したという意味で、赤点線を示した。
0:52:20	というものでございます。なので実際に間接せん断面を確認したというわけではないと。
0:52:28	推定で変えているというものでございます。以上です。
0:52:36	ご説明ありがとうございます。
0:52:39	そうするとそうかその背景は何かっていうと、上載地層ほう素の上載地層法の適用と、
0:52:49	せん断面と、
0:52:53	基盤との関係なんですよ例えば30ページ。
0:53:03	ここS1の活動性評価で、ちょうど断層と上載層との関係を見てるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:09	このS1を、下に写真があります上にスケッチがあるんですけど、下部の方は施栓断面が見えているんですけど、上部の方に来ると、不明瞭なせん断面。
0:53:23	だけどこれは上載地層に届いてるんで、ここは上載地層法が使えて、活動性評価にこのデータは資すると。
0:53:32	ということだと思うんですね。他方で、先ほど、
0:53:36	戻るとですね。
0:53:40	38ページですかね。
0:53:43	38ページの左側に、不明瞭なせん断面ってこう書かれてしまうと、不明瞭なせん断面でも、せん断面の中で上載地層法が使えるものと使えないものが混在しているという、
0:53:56	そういう誤解を招くんじゃないかと思って、少し事実確認をさせていただいたんですけど、今のご説明ですと、推定ということなんで、
0:54:07	少しここは、38ページですね、
0:54:11	掘り込み前のスケッチの凡例を、
0:54:14	が、
0:54:15	適切じゃないんじゃないかと思うんですけどその点はいかがですか。
0:54:20	少し私が背景も踏まえてちょっと。
0:54:22	確認させていただければと思います。
0:54:35	はい。
0:54:37	他電力の木村です。
0:54:39	確かにおっしゃる通り、S4の、
0:54:42	こちらの赤点線と、
0:54:45	30ページのS1の赤点線、
0:54:50	点線、
0:54:51	これはちょっと意味が異なっておりまして、1の方は、破碎部がちゃんと上まで伸びていると。
0:55:00	海老沢さんは上まで伸びていて、せん断面が認識できるものなんですけども、水温に関しては、そういった固結した破碎部、
0:55:10	もうこの取り組み前の状態では確認できませんでしたし、
0:55:16	せん断面も確認できなかったということで、少しインパクトのあるものとなっておりますので、そのあたり、SAの方は少し異なる。
0:55:27	ものであるということ、少しはPIOに記載したいというふうに思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:36	ご説明ありがとうございます。少し今の、
0:55:41	ことも踏まえてですね、断層、せん断で不明瞭なせん断面ですね、不明瞭なせん断面と、上載地層との関係において、
0:55:51	どういった場合が敵上載地層法が適用可能でどういったものはできないかということのですね、
0:55:58	全体のその整合性を図ってもらえればと思います。
0:56:04	あと最後にですね 46 ページ。
0:56:12	ところは、
0:56:16	活動性評価の主たる根拠としたデータのところで、
0:56:20	2 番目の、
0:56:22	事実確認等も関連してくるんですけど、実は、ここの表の中もですね、鉤物脈法のところは、最も明確なデータってところが、
0:56:33	見えない状態になっている一方で、この 46 ページは、非常に活動性評価が一目でわかる。
0:56:45	非常に有益な資料だなと思っております。
0:56:50	従ってですね、例えばなんですけど、
0:56:54	この表のですね、
0:56:56	今一番右側に活動性評価とあって、その左側に、
0:57:01	例えば最も明確なデータと、
0:57:07	いうもの欄を作ってですね、そこに例えば、
0:57:13	そうですね
0:57:16	S4 で言うと、確か 5 の、
0:57:19	50 でしたっけ。
0:57:22	例えばそこに丸を入れた上で、さらに丁寧にやるのであれば、
0:57:30	どの薄片①なのか、②なのか、あと範囲とかですね。
0:57:35	薄片名とかその確認範囲ってところまで、
0:57:39	入れるとですね、さらに、
0:57:44	何ですかね、正確なデータがですね、情報が伝わるんじゃないかと考えておるんですけど、この点はいかがでしょうか。
0:57:58	はい。北陸電力驚見です。網野さんのご趣旨よくわかりましてこの表としては、あの人がわかりやすいというところで、あんまりこれ業ふやしたくないというところも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:07	一方で、そのどれが最も明確なデータかかつ努力変動範囲というところもわかるというところまでいくと、一番の活動性評価が少し左に農業入れられず終えて、
0:58:19	どれが一番か、或いは、その中でもどの範囲かというところまで、ここに書くと非常にわかりやすいという、それはその通りだと思いますので、おっしゃる通りです。修正させていただきたいと思います。以上です。
0:58:35	スモリさんありがとうございます。はい。そうしていただけると、我々も大変助かります。
0:58:44	はい。私からそうですね。本資料の方は、はい、以上4点です。ありがとうございます。
0:59:19	カイダです。
0:59:22	ではちょっと資料変わってですね。
0:59:25	補足2分の2の方をお願いします。2分の2の、
0:59:31	今回追加された。
0:59:34	私の方から、57の、
0:59:37	シリーズですね、ここでちょっと、何ヶ所か、
0:59:40	確認等したいところありますので、
0:59:43	お願いします。5-17なんですけれども、
0:59:51	まず念のため、5-15.17、1-3。
0:59:56	ここの
0:59:57	調査データ、位置図、
0:59:59	これは先ほど申し上げたように、反射法とか、
1:00:03	そういったものを反映するのであればしておいていただきたいと、いうふうに思いますのでよろしくお願いします。
1:00:10	で、
1:00:11	めくって、5.17の、
1:00:15	1-4ですかね。はい。
1:00:19	1-4っていうものの次に、
1:00:21	1-5っていうのが来てますけれども、
1:00:26	ちょっと、
1:00:27	順番的にはこの
1:00:29	5.17の、
1:00:32	1-4っていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:37	北陸電力の評価と有識者会合の評価を並べて書いたものであって、
1:00:45	いきなり 5.1-1-5 っていうのは今回やった日、
1:00:52	結論みたいなのがどんときてるんですけど、
1:00:55	むしろこれは、例えば S1 であれば、
1:00:58	5.17-1-11。
1:01:03	この 11 ページっていうのは、
1:01:06	先ほどの 4、4、1-4、
1:01:10	2、対となるようなものとかそのスズキが 1-11 なんて、
1:01:17	今ここでどういったことを言われてそれに対してどういうことやったか というのが話が出てきて、
1:01:25	その後ろに、今の 1-5、
1:01:29	或いは本編資料と同じ
1:01:32	白まとめ評価みたいなものが来た方が、
1:01:36	流れとしてわかりやすいかなと思ったんですけど
1:01:41	その S s 6 の方も一緒ですね、
1:01:44	5.1-17-1 の、
1:01:48	33 ページですかね 33 ページの後に、
1:01:54	まとめの
1:01:56	ページっていうのが、遊んだ方がわかりやすいと思うんですけどこれち よっと
1:02:01	私はそう思ってるんですけど、何かその辺、こだわりがあるのであれば 今の流れでもいいんですけど、その辺、いかがですかちょっとページ の移動させてみるっていうのは、
1:02:17	北陸電力木村です。今ほどおっしゃられたように、5.1、17-1-4 の次 に、
1:02:27	S1 でしたら、今月の
1:02:31	検討であります 5. 17-1-11。
1:02:35	そのあとに、5. 17-1-5 という形。
1:02:40	文マウスっていうのは、
1:02:43	その辺が流れやすいかなと思いますので、そのように修正したいと思 います。
1:02:48	S s - F についても同様に修正したいと思います。以上です。
1:02:53	北陸電力藤田です。
1:02:55	今の構成にした、ちょっと考え方だけ言いますと、今の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:01	この 17-1 の 3 ページの上の四角書きにですね、
1:03:07	白丸が三つあって、
1:03:10	ここが
1:03:11	入社介護の話とそれから我々どういことをやってきたかってことをまとめたページになってまして。
1:03:18	まず 1 マル目に入所介護でどういことをあれだかっていうことで、一行目に詳細は次ページってことですぐめくったところに、当社の評価という者会合の話があって今後の課題も示されてるってのがわかるような、まずつくりにしてありまして、
1:03:34	この 17 日の 3 ページに、
1:03:37	夕食会合のときからデータをふやしてしっかりやったよっていうことが、二目にあるんですけど 3 マル目に、
1:03:43	ここで全体通して、我々やったことから何が入れましたかっていうことが、早めにわかった方が、読む人がストレスなのかなと思って、3 マル目の最後に、S1 と 26 については、
1:03:56	5-17-1-5 と 6 に、先、結論先出しみたいな形で載せますっていう形で作ったんですけども、
1:04:04	今カイダさんおっしゃるように全体の資料をしっかりと見ていくとするならば、後ろの方に今の 5 ページ 6 ページを持ってたほうがわかりやすいかなっていうので、考え方は幾つかあると思うんですけどもそのような、
1:04:17	全体の資料としてまとまりがいいということあればそういうふうなふうに変更してもいいのかなとは思ってます。
1:04:23	補足でした。以上です。
1:04:26	はい。規制庁甲斐です。そうですねそそういった考え方もあるかなと思いつつ、資料見てました。
1:04:34	でもここ 5.17 章っていうのはあくまで有識者会合。
1:04:39	2 の評価に対してっていうところなので、
1:04:44	その流れがまず来て、結論後の方がいいかなと思ってちょっと私の方で、
1:04:51	ちょっと先ほど申し上げさせていただいたのでちょっとその辺検討していただきたいなと思ってます。
1:04:59	で、
1:05:00	引き続き、お花申し上げます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:06	5.17-1-8 とか 9。
1:05:11	なんですけども先に 5.1-1-11。
1:05:18	ページ、今回
1:05:20	ここにこういった、
1:05:22	右側ですかね、新たな追加検討で検討 123 とか、
1:05:28	いうのがあるんですけども、
1:05:31	この検討 123、全部で 5 までであると思うんですけども、
1:05:37	この検討 1 から 5 までがですね。
1:05:41	例えばその前のページ、
1:05:43	5.1-89
1:05:46	の、どれが検討 1 で検討 2 がどれかっていうのが、
1:05:52	ちょっとわかりにくいんですけどもこれは
1:05:56	検討 1 から 5 っていうのはこの
1:05:58	1-8 とか 1-9 ページのどっかに対応してるんであればちょっとこう、
1:06:04	わかるような表にさせていただいた方がいいと思うんですけど。
1:06:08	これは何か対応関係っていうのはあるんでしょうか。
1:06:15	送り年度決めます。
1:06:17	5. 17-1 の 11 ページの方に、
1:06:21	今後の課題と、検討 1 人センターの関係をちょっと矢印で一つ一つ示しているんですけども、
1:06:30	このぐらい①については、この大事でしょう。
1:06:37	戻っていくと。
1:06:39	キントウンにも、(1)の方に行きます。それと対応していると。
1:06:45	で、今後の課題②の方は、②と③は、矢印をたどっていると検討さんの方に対応していると。
1:06:53	こういった形で対応関係を示して、
1:06:58	おりますが、
1:07:01	もう少しわかりにくいということでございます。
1:07:04	でしょうか。
1:07:06	はいカイダです 5.1-1-11 ページそれあの矢印をたどっていったらわかるんですけども、
1:07:15	8 と 8 ページ 9 ページで、いろいろ示されたことに対して、
1:07:22	こういった検討をしましたという、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:27	ここに対して、検討1から5っていうのは何かひもづけできるのであれば、この8と9のところにも、
1:07:35	もう書いておいた方が、検討1って、どの話だとか。
1:07:39	というのがわかりやすいと思って聞いてみたんですけども、その辺はどうなんでしょうか。
1:07:49	ほくぎんの木村です。この1-81-9ページにも、検討123は
1:07:57	どのように対応するのかということを知るように、記載するということがその方がわかりやすいということは、
1:08:05	CCはわかりましたので、に、資料の方、追記したいと思います。
1:08:14	以上です。
1:08:17	はい。カイダです。わかりましたじゃよろしくお願いします。
1:08:22	あと、また1-11ページをお願いします。
1:08:34	と、
1:08:35	ここで、
1:08:37	駐車場南側法面、
1:08:43	なんですけれども、
1:08:47	これ辿っていきますと検討1を見たら、
1:08:54	検討結果として再堆積の可能性はないという検討結果になってて、
1:09:01	そのページ以降の検討1、
1:09:04	なんですけれども。
1:09:06	これ再堆積の可能性はないっていう結論に、
1:09:12	説明してます。
1:09:14	有識者は再堆積の可能性がある。
1:09:17	高井。
1:09:19	だけど改めて検討しても、これは再堆積の可能性はないんだという評価。
1:09:26	なんですけれどもこれ何度もこれまで説明受けてますけれども、
1:09:33	1-5ページの駐車場南側法面とか御のところを見ると、
1:09:40	その辺の評価っていうのは、
1:09:43	再堆積の可能性があるとというふうに、
1:09:47	評価し直したかなとも考えていたんですけども、
1:09:53	これは今検討1の結果として、再堆積の可能性が、
1:10:00	ないというふうに、
1:10:02	なってるのはこら辺ちょっと事実関係というか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:06	今結局どういう結論になってたのかなというところを確認したかったんですけれども、いかがですか。
1:10:26	はい。北陸電力の猪原です。
1:10:29	5.17-1の11ページに書いてあります検討1の結果、こちらでは再堆積の可能性はないという結論としては、現在各種記載しております。
1:10:41	これにつきましては、
1:10:42	あくまでも、資料に示しております、5.17-1の14ページ以降に示しておる結果からは、
1:10:49	再堆積の可能性はないというふうにこの調査をした当時は、このような評価をしておりました。
1:10:56	ただ、上載地層法の審査、過程の中で、上載地層を評価された問題を評価するために
1:11:05	改正の定量的な評価というものがようになってきた経緯がございます。
1:11:11	そういった経理といいますかそういったルールを踏まえますと、
1:11:16	最終的には再堆積の可能性はあるというふうに我々評価、改めてしておりますので、
1:11:22	それがわかるように、この5.17-1の11ページ、
1:11:26	こちらも、そのような記載を追記していきたいというふうに思っております。現在は確かにちょっと整合とれてませんので、その辺は修正したいと思います。
1:11:35	以上です。
1:11:38	はいカイダです。わかりましたちょっと時期、時期がずれてたというところがある。
1:11:45	ということかと思っておりますので、その辺資料の中で不整合が生じないような形で、何か書き方を工夫していただいて、
1:11:56	必要に応じて修正を、
1:11:59	お願いします。
1:12:04	あとすみません。
1:12:06	5.17-1-33ページをお願いします。
1:12:22	33ページなんですけれども、
1:12:26	ちょっとこれ
1:12:30	確認をしたかったのが、
1:12:34	N o. 2 トレンチの
1:12:39	どうふうに書いてあるところから矢印が出て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:45	ナンバートレンチでは云々と書いてあって、
1:12:51	黒字の部分。
1:12:53	明確、明瞭な変位が認められないがというところで、それに対して検討3という、
1:12:59	そうしました。違う。
1:13:03	検討2か。
1:13:05	山側に傾斜に検討にという、
1:13:10	高野が出ているんですけども、
1:13:20	と、
1:13:22	例えばこれは、
1:13:26	検討4とかの方にも、矢印は行かない。
1:13:31	いかないんですかね
1:13:33	検討4というのは、あくまで、
1:13:38	今後の課題の④に対してだけと、あと、⑤に対してであって、
1:13:45	No. 2 トレンチっていうのを特に意識したわけではないという、
1:13:53	古藤なんですかねあとちょっとこの辺の矢印の書き方。
1:13:59	が、
1:14:04	確認したかったんですね。で、
1:14:07	あと今、地形、一番地形っていうところも、
1:14:13	山側の傾斜の話は
1:14:17	この検討2っていうところまでだけじゃなくて検討1っていうところに入ってますけど、
1:14:24	上の方に入っていないので、
1:14:27	これも山賀は傾斜の話かなというふうにも見てたんですけど、
1:14:31	ちょっとこの矢印の行き方の考え方をちょっと、
1:14:36	説明していただきたいんですけども、よろしいですか。
1:14:43	北陸電力の木村です。このNo. 2 トレンチの層理の傾斜に関しては、このトレンチの中で、
1:14:53	この堆積物の話。
1:14:56	でございますのでそれに対して直接、
1:14:59	検討したのが検討2になります。で、
1:15:03	検討4というのは、上杉蘇武の南方への連続性ということで、ボーリングですとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:13	音波探査記録で、南方に連続しないと、いうことを述べているものでありまして、年齢にトレンチの層理の傾斜とは直接関係していないということから、
1:15:26	その面 2 ページにその層理の傾斜に直接関係するのは、検討 2 だけということ。
1:15:34	こういう記載をしておりますんで、
1:15:37	地形に関しては、N S T e c 付近で、地形岩盤上年度に赤字のところ、地形断面ともに、S s - F の海側が高くて山が低い傾向が認められると。
1:15:51	いう評価については、
1:15:53	これから検討 1 の方いきまして、
1:15:58	説明する分付近の地形の、岩盤上年計上、
1:16:03	ボーリング等で確認したと。
1:16:06	これは地形に対する検討ということ、これに対する直接の
1:16:12	追加検討というのは検討 1 に当たるということで、この矢印を引っ張っていると。
1:16:20	こういった関係となっております。
1:16:22	以上です。
1:16:26	はいカイダさん、わかりましたじゃあ、
1:16:30	はい今そういうお考えで、
1:16:34	聞かれてるっていうところはわかりました。
1:16:40	はい。私の方から以上です。
1:16:48	規制庁の宮脇です。私の方からちょっと 1 点、
1:16:54	補足の 2-2 の 5-3-2 の 45。
1:17:00	そうですね。
1:17:02	今回追加記載していただいた、
1:17:08	資料なんですけども、この箱書きの一番したですね
1:17:14	この変質鉱物は、
1:17:17	亀裂に沿って風化変質したもので鉱物脈ではないというふうに判断したって書いてあるんですけど。
1:17:24	これ変質鉱物 II も形態的にはどう見ても、
1:17:30	鉱物脈ですよ。
1:17:33	要するに
1:17:36	おんなじ鉱物脈でも、中央付近の風化変質でできたもの。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:42	であって、熱水変質できた鉱物脈ではないという、
1:17:47	いうことでよろしいんですね、これ。
1:17:52	お客電力驚見です。
1:17:54	今ほどの 5.3 の 245 ページこちら記載につきまして、
1:17:59	その他ですね、今回参考とさせていただきましたところが、イタレーションいたしましてその他のものが、今宮城さんおっしゃいました、そういうもので熱水変質による鉱物脈そういったもの、
1:18:11	割引率の中にですね、下水に乗ってきた成分が沈殿してですとか、その中で、粘土鉱物がそこで生成して、
1:18:21	梅田とかそういったこういう計画を想定してまして、こちら参考とさせていただきました理由としましては、こちら、あくまでその亀裂面に沿ってですね、k II 免税、母岩といいますか
1:18:34	自分が返送してこのように不
1:18:36	できたものというところで、
1:18:40	すごくこういう戦略としたところと、少し出雲ででき方といいますか、携帯に差別化をしておりますので、そこに高いかと思っておりますけれども、
1:18:50	おっしゃいますこういうチェックでないというふうな書き方というところは少し誤解を招くような形の形になっておりますので、趣旨としましては、このケースに沿ったイメージを
1:19:00	記述に沿って、復活したものだとして、そういったものであるということが、この
1:19:05	追加したを参考という 2 ページですね、の位置付けになっております。以上です。
1:19:12	わかりますちょっと 5 回位の内容にちょっと記載の方、検討していただけないでしょうか。
1:19:22	はい、承知いたしました。
1:19:24	よろしく申し上げます。
1:19:35	ノダですけど。
1:19:37	さっきカイダさんから少し事実確認させてもらった 5-17、5-17-1-3 をお願いできますか。
1:19:47	この 17-1-3。
1:19:57	上の箱書きの三つ目のポツのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:02	中ほどにですね、有識者会合時の評価、及び、有識者会合以降の追加検討に基づき、
1:20:11	改めて後期更新世以降の活動が認めないことを確認したって書いてあるんですけど。
1:20:17	この有識者会合時の評価。
1:20:20	評価。
1:20:22	多分有識者会合工事の評価っていうのは御社は当然、後期更新世以降の活動が認められないと評価してるんで、
1:20:32	それに基づいて、改めて後期更新世以降の活動が認めないことを確認したのかなあ。
1:20:40	評価はそうだったんですけど、有識者会合時の、
1:20:45	調査データに立ち返って、かつ、有識者会合、
1:20:51	以降の追加検討に基づいて、改めて確認したんじゃないかなと。
1:20:59	私は頭の中で整理したんですけど、そこは違いますか評価であってます金子有識者会合時の。
1:21:21	北陸電力藤田です。あくまで、
1:21:25	今評価に用いたのは、入社介護時のデータ。
1:21:30	それ以降に取得したデータとか検討結果で、最後の後期更新世以降活動がないってことを言ってますんで、
1:21:39	第5次の評価という我々も評価してるし、ニシキの方も当然評価してる人はちょっと曖昧なとり方になりますんで、あくまでそのデータに基づき評価ってことで出たというふうに今やりたいと思います。以上です。
1:21:54	ありがとうございますそうですねデータじゃないかなと思って評価だと多分、
1:21:59	後期、少なくとも御社は、後期更新世以降活動認められないと言ってるんでそれに基づいて改めて確認っていうのは、
1:22:07	ちょっと何かロジックがー。
1:22:10	うまく組めないんじゃないかなと思いました。ありがとうございます。
1:22:14	あとは、
1:22:17	ごめんなさい、本資料の方で時間がなかったらもういいかなと思ってたんですけど、まだ少しあるんで、本当は細かいところをお伝えしていきます。
1:22:27	本資料の、まずはですね、8ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:36	評価の概要のところ、一番下に5ボツの活動性評価の四角囲みがあると思うんですけど、
1:22:46	今ここで最後結論のところ、実線が三つ来てると思います。上載地層法と鉱物脈法と、あとは、補足20という、広域的な検討。
1:22:59	ただ、広域、この常設法と鉱物脈は当然これ実践できて、
1:23:05	直接的な根拠になっているので実践なんですけど、多分広域的な検討ってというのは、これはあくまでも、補足とか参考とか、位置付けがちょっと違うと思いますので、
1:23:17	ここは、
1:23:18	点線じゃあ、ごめんなさい実線じゃなくて点線とか少し差別化が必要じゃないかと思うんですけど、この点いかがですか。
1:23:30	はい北陸電力の三原です。
1:23:33	今おっしゃる通りですので、ここにつきましては耐専引っ張るように、資料の方、修正したいと思います。
1:23:42	以上です。
1:23:43	ありがとうございます。続いて9ページ目、これは、もし無理だったら、構わないんですけど、
1:23:52	左上に
1:23:54	丸が三つあると思うんですけど、
1:23:57	このポイントが小さくてですね、これは別の補足1だけではなくてそれ以降、
1:24:03	もそうなんですけど、この本当もう少し大きくしてもらってということをご検討いただければと思います。もし無理だったらいいです。
1:24:14	あとはですね、小原です。
1:24:18	もう本当に大きくして見やすくなるように、
1:24:23	したいと思います。以上です。
1:24:26	ありがとうございます。続いて13ページ。
1:24:30	上に表があると思うんですけど、おそらく、兵頭左側の欄ですね、志賀原子力発電所における破碎部の分類。
1:24:41	分類じゃないですかね左、右側の方が、鹿野村田による分類なんで、多分それに対比させるところも、
1:24:48	ここは、
1:24:49	しか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:52	における破砕部の分類。
1:24:55	すいません細かいことで、
1:24:59	適宜反映してもらえればと思います。
1:25:02	あと 19 ページ。
1:25:09	ここは断層の性状一覧表になっていて、真ん中辺りに運動方向があると思います。ここは三つ欄があって一番右が条線方向になっているんですけど、
1:25:22	おそらくこの条線方向というのは、粘土状破砕部の条線方向だと思いますので、少しそういったところがわかるようにしてもらえればと思います。
1:25:32	ちなみに、衛藤新野 37 とか 38 というところは、ちゃんとこの条線方向が、粘土状破砕部だということの条線方向だということがわかるように記載されているので、
1:25:43	ちょっと 2-37 とか 38 を、参考にしてもらえればと思います。
1:25:50	続いて 23 ページ。
1:25:56	右側に図 8 ということで、堆積物の年代の評価があります。この図の上のところにナンバー 2、35 メートル盤。
1:26:09	駐車場南方トレン。
1:26:11	南東方トレンチとあるんですけど、この下に、このトレンチがどの、断層に該当するか、例えばナンバー 2 だったらこれ S 26 だと思うんですけど、
1:26:21	ちょっとそういった補足を入れてもらえればと思います。
1:26:27	あとはですねえ。
1:26:33	27 ページ。
1:26:36	すいませんこれも本当どうでもいいことなんですけど、上の、
1:26:41	地質時代のところ、一番右の第四期だけ縦書きになってるんですいません横にしてもらってもいいですか。
1:26:47	本当すいません、つまらんことで、
1:26:52	そうですね。
1:27:04	すいません、47 ページ。
1:27:09	47 ページの真ん中鉱物脈法による活動性評価の碎屑岩脈の手前ですね。
1:27:20	下から言うと、一、二、5 番目のマル。
1:27:25	目視観察の結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:27	これはボーリングコア観察のことを言っていますか、あんまり目視観察 っていうワードが出てこなくて、一応私後の 48 ページを見てみたらそ こはボーリングコア観察ってなってたと思うんで、
1:27:40	少し整合性を図ってもらえればと、ちょっとここは確認させてもらって いいですか目視観察、コア観察のことですかねこれは。
1:27:50	北陸電力 1 社です。おっしゃる通りボーリングコア観察のことですの で、修正させていただきます。
1:27:58	わかりましたありがとうございます。続いて 51 ページ。
1:28:05	上の箱書きの二つ目。
1:28:08	多面的に活動性評価を行う観点から、
1:28:13	多面的、
1:28:19	ごめんなさい、これは私だけなのかもしちょっと多面的って若干ニュア ンスが違うかなと思っていて、
1:28:26	もしこの多面的を置き換えるなら例えば複数の手法でとか、多分ここ は鉱物脈でやったということなんで、異なる手法。
1:28:37	で、
1:28:37	活動性評価を行う観点からとするか、もしくは、5-3 ページなんかを見 ると、
1:28:47	上載地層法だけじゃなくて鉱物脈法により総合的に評価を実施したって いうのが書かれて 5-3 ページです。
1:28:55	だからもし、
1:28:57	もうこの真ん中の多面的、
1:29:01	のところから、観点からんところをもうやめてしまって、活動性評価に あたっては、ウニャウニャウニャッ。
1:29:09	上載地層法鉱物脈法により総合的に評価を実施したとかそういうことじ ゃ、多面的ってちょっと私は、
1:29:17	ニュアンスが違うんじゃないかなと思ってちょっとご検討いただけれ ば、私は 5-3 ページを見ました後、3 ページ。
1:29:29	あとはですね。
1:29:33	これは言った。
1:29:39	あとは大分進んで午後、100 ページ。
1:29:46	この 100 ペイジーで、これ S 26 の評価結果で、この一番下、現在の当 社の評価っていうところがですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:59	例えばS1とかS4と若干書きぶりが違ってそれは何が違うかという と、
1:30:10	確かですね、ああそうですか、岩盤直上の堆積物に変位変形を与えてい ないっていうものですね、この
1:30:21	S26だけないんですけど、
1:30:24	そこは何かこう、あれですか、S26だけ、S1とかS4と差別化をして いるもしくは、整合性が図れていない、図られていない。
1:30:34	どちらになりますか。
1:30:43	えっと、小宮窪キムラです。
1:30:45	S E部の看板2トレンチにつきましては、入社開業時から、我々、S s - Fは顔面直上の1台ぐらい全然変形を与えていないと評価しておりま して、
1:30:58	入社会合の変位については、認められないということが、同様の評価だ ったというふうに、
1:31:08	認識しておりますので、
1:31:12	こういう社会の移行の通路検定については、この変位ではなくて、
1:31:17	変形について検討、変形の有無について検討を行ったという内容になっ ておりまして、そういった意味で、黄色の箱書きは、他の断層では変位 変形は認められないというふうに、
1:31:30	変形を与えていないというふうには書いていますけども、
1:31:34	ですねそこもこのNo. 2トレンチだけは、
1:31:37	変形をおよぼしたことはなく、
1:31:42	S s - D保育制度以降の活動は認められないと、少しちょっと異なった 表現となっております。
1:31:50	もう少し日吉ですが補足させていただきます。このページの上から何遍 も二つ目の四角、四角ですね、有識者の評価と、ここで下のマル二つの 下に矢印があってですねこの入社介護、
1:32:04	その評価の部分に、こうする形で書いてあるんですが、
1:32:12	特に他との差別化を図る全体として、S他の断層の記載に合わせてもい いかなと。
1:32:19	思っております。はい。
1:32:21	いかがでしょうか。
1:32:24	細田ですけど、吉田さん木村さんご説明ありがとうございました。衛 藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:29	合わせたほうがいいかなと思っていてなぜかという、新規基準に照らし合わせるとその変形をおよぼし、
1:32:37	ことはないだけでは、後期更新世以降の活動は認められないに繋がらないと思うんですね。あれはあくまでも変位変形も、変形だけで変位も、
1:32:47	ないっていうことを確認しなければいけないんで、ただ木村さんのご説明の背景は承知しましたけど、そうですね。
1:32:57	うん。やっぱりそうだろうな。うん。この後期更新世以降の活動は認められないに繋がるようにしてもらえればと思います。
1:33:06	背景は説明した通りなんですけどもやっぱりあくまでこれ本資料は、新規基準に適合するかどうかという観点で最後まとめるべきだと思いますんで、ここは規制料金にちゃんと合ってるっていう表現に直したいと思います。以上です。
1:33:21	ノダですけど。ありがとうございます。そうしていただくと、何か誤解というか、
1:33:28	ちょっと我々の確認漏れということも避けられるんじゃないかと思えます。あとすいません最後にですね、これこれ最後この、
1:33:36	いや、129 ページ。
1:33:41	ごめんなさい 529 ページ。
1:33:44	ここが、ここからが S4 の
1:33:50	トレンチの評価になってるんですけど、ここ以降ですね、判例とか、例えば、今右した 129 ページの右下にブロックサンプリングとか、
1:34:01	拡大写真とかあってですねここ、S0 が裸で使われてんですけど例えば他のところだと S4 のところに、主せん断面って括弧自然断面って書かれていたり、
1:34:13	あと 130 ページ以降も、ちょっと凡例が抜け、
1:34:17	右が写真のところから 130 とか 131 とか、
1:34:21	凡例が抜けてるんじゃないかなと思うんで少し確認していただければと思います。ずっと追加したところ、例えば 134 ページですね、ごめんなさい。
1:34:31	134 ページなんか見ていただくと、右側の写真で S4 加工施栓断面とかですね、こういう書き方をしている一方で、その前のところは S4 がちょっと裸で使われているんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:44	少し判例という意味で、すいません新しく追加したところだと思うんですけど、ご確認いただければと思います。すいません私から細かいところですけど以上です。
1:35:10	規制庁海藤です私からちょっと、すみませんまた
1:35:14	追加というか確認で、
1:35:18	補足の2分の2。
1:35:21	の、
1:35:23	5.3の、
1:35:26	国の、
1:35:27	264、5.3-2の264ページをお願いします。
1:35:42	ここの
1:35:45	上の箱書きなんですけども、
1:35:48	一番下のマル。
1:35:51	んの、頼んで、またって書いてあるところの最後の方で、
1:35:55	この関係について、補足資料5.3-26、
1:36:00	P5.3-2の264、265に模式図で示すというふうに書いてあるんですけど。
1:36:08	この264というのはまさにこのページだと思うんですけども、これ何かあれですか、別の、
1:36:17	ことを指してるのかちょっとここの、
1:36:19	まさにこのページに、264に示すっていうのは、ちょっとどういう、
1:36:24	動きなのか何か別の説明なんかちょっと教えていただきたいんですが。
1:36:32	連絡済みです。こちらの
1:36:35	5丸めの260465と書いてある場所ですけども、申し訳ありませんこれ266267の模式図が、正しくはこちらになりまして、申し訳ございませんこちらページ正しく
1:36:47	適正な修正させていただきます。以上です。
1:36:51	カイダですわかりましたじゃこれは修正をお願いします。
1:36:56	それ。
1:36:57	それでちょっとこのページの何て言いますか、模式図ですね264ページの模式図。
1:37:07	これ
1:37:08	以前、その計算だけが何でもこうちょっと違うんだっていうところの説明で、こういうのを見て、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:16	まあまあそうかっていうふう思ったところもあるので、
1:37:20	何かこのZoom、本編のどっかにちょっとこう入れ込んでおいていただければなと思ってるんですけど多分、
1:37:30	最後のまとめの方のどっかに、
1:37:34	こういった馬の形成プロセスですっていうのが入ってたほうがわかりやすいと思うんですけど今入ってなければ、
1:37:41	どっか本編の方にもこれ入れておいていただきたいんですけど、どうですか場所はお任せするんですけども、
1:37:59	ピーク電力1社です。
1:38:02	この264の模式図ですけれども今のところ本資料には今、一度抜いた形になってますので、こちらについてはちょっと入れる場所も、
1:38:10	検討させていただいて、星の方へ入り込ませていただきたいと思います以上です。
1:38:16	はいカイダです。よろしく申し上げます私私から以上です。
1:38:38	規制庁の野田ですけど。
1:38:41	そうですねまず我々の方から、まとめ資料、
1:38:45	本編とか補足とかに関する事実確認は以上でして、もしよろしければコメント回答の方に移ろうかと思うんですけど、ここまでのところで、御社から、
1:38:58	何か確認があればお願いします。
1:39:04	北陸電力藤田です。
1:39:07	確認いただきましてありがとうございます。少し我々の適作図るべきところもちょっとご指摘いただいたような形になって申し訳ございませんでした。しっかり対応したいと思います。こちらの方から、
1:39:18	確認事項は特にございませんので、進めていただければと思います。
1:39:23	オダですけど藤田さんありがとうございます。そうしましたら、コメント回答資料の方の事実確認に移らせていただこうと思いますよろしく申し上げます。
1:39:48	はい。規制庁の大井です。コメント回答資料ですけど、
1:39:53	4ページ、あ、すいません。まずですね、ごめんなさい。
1:39:58	コメント回答に関わることなんですが、
1:40:01	コメントリストのほうですが、
1:40:05	コメントリストの10ページ11ページ。
1:40:10	お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:12	これでちょっと事業者として今どう考えてるのかなということを確認させていただきたいんですが、ナンバーの126、
1:40:21	のところで、
1:40:25	K2の
1:40:29	コメントについてですね、薄片についてこのときは、
1:40:37	9月16日に回答されているというふうになって灰色になってございますが、9月16日の時点では現地の町、現地調査において計についてもですね、確認をするということと、
1:40:50	現地調査においては確か
1:40:53	③にあたる薄片が新たに出されて、それで現地調査で
1:41:03	回答さ
1:41:05	説明はあったというふうに議事録でも書いてありますが、
1:41:09	こちらとしてはですねそれはまた審査会合において、資料化してっていうふうな流れでございましたが、今回まとめ資料の方の、
1:41:21	へえ。
1:41:22	ちょっと、
1:41:23	ページをちょっと忘れてしまいました、ところにこの下、③の薄片資料というのはあるっていうのを確認してはいるんですが、
1:41:32	このコメントリストとしてすでに回答済みであるというふうな古藤。
1:41:38	という認識で
1:41:41	今回のコメント回答資料も作られてるのかなっていうふうにも思いつつ、その現地調査で確かに明確なコメントを出してない形に、県については出してないとは思いますが、
1:41:52	都丸さんの資料についてはですね、ちょっと今どうお考え。
1:41:57	次回会合においてもどういうふうにご説明されるのかなというものを含めてちょっと、
1:42:05	5枠に確認させていただきたいんですが。
1:42:42	ノダですけど、少し補足させてもらえともらうとですね。
1:42:48	もちろん現地調査で見えてですね、我々確認させていただいたんですけど、具体的なそのK-2のですね、薄片さんですね、今、
1:42:58	最も明確な根拠になってるものなんですけど、他方で、審査会合という観点でいうと、まだ、
1:43:09	資料でご説明されていないので、ここは、コメント回答の何ですかねその完結性という観点から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:20	まとめ資料からの抜粋で構わないんで、もう一度ご説明いただくのと、あとは、そこをですね、先ほど今、
1:43:30	オオイからですねコメントのところ、コメント会リストのところの話があったんですけど、少し、今もう9月16日で回答済み、回答完了となってるんですけど、
1:43:41	今回、
1:43:43	今回、次回か、次回の審査会合で、
1:43:48	該当すると、というような形で整理をしていただければというのが、端的にお伝えしたかったことです。以上です。
1:44:00	北陸電力藤田です。
1:44:02	現在お出ししてる、本日の4ページにコメントリストと回答概要ありますんで、
1:44:09	そちらの方、
1:44:15	にも入れるっていう形ですか。
1:44:18	いや僕もそう。
1:44:20	ノダですけどはいそうですねコメント回答の4ページにもすみません経理のものを足してもらった上で、その後ろに、繰り返しになるんですけど、まとめ資料からの抜粋で構わないんで、
1:44:33	該当する箇所をですね、追加していただければと思います。すみません。これは我々しました。はい。
1:45:03	野田ですけど、あと私の方からいくつかまず、コメント回答資料の3ページお願いできますか。
1:45:14	初めのところで、今、1から8まで項目立てされているんですけど、ちょっとこの順番を入れ替えてもらえればと思っていて、具体的には、
1:45:26	(6)番の主たる根拠とする鉱物脈データ、これを一番最後にしてもらえればと思います。おそらく並びとしたり、計18Kさん、多分ここにK2が入ってくると思うんですけど、
1:45:41	その評価があって最後に
1:45:45	御社に取りまとめてもらった、当行別宮区データ活動性評価の一覧があった方が、全体の並びとしていいのかなと思っておりますけど、いかがでしょうか。
1:46:01	はい。北部電力の三原です。そのような順番に修正したいと思います。
1:46:06	そうしますと先ほどの経営のコメントは、コメント回答はK18の前に入れるというふうにさせていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:15	以上です。
1:46:18	はい。規制庁野田ですけどありがとうございますそうですね計 28 で計算ですかね。はい。
1:46:25	わかりました。
1:46:27	あとはですね、私からどこだったっけなあ。
1:46:34	ごめんなさい 40、45、5 ページ、経営さんの評価のところなんですけど、
1:46:44	一番下の箱書きのところの、2 行目ですね最後の行のところ、この粘土鉱物にれきの回転灯による変位変形は認められないって書いてあるんですけど。
1:46:59	これは何に伴う別記のかい。
1:47:02	利益の回転等による変位変形が認められないということを行っていますか、事実確認させてもらえればと思います。
1:47:13	はい。北陸電力清野です。このデッキの改定というのは最新のコアの計算服につきましては、F5 というところで、それを包括するゾーン全体で、
1:47:24	鉱物脈との関係を見ているということもございますので、このゾーン全体、断層活動があった場合ゾーン全体が動く、それに伴う収益の改善という、そういった趣旨で、
1:47:34	のつもりだったんですけどおっしゃる通り、
1:47:37	断層活動が原因での利益の改善というところがなかなか読めない文章になっておりますので、そのあたり少し文章見直させていただきたいと思えます。以上です。
1:47:49	規制庁野田ですけど、すみませんありがとうございますそうですねまさにその断層活動に伴う断層、
1:47:56	活動の運動に伴うっていうところがないとおそらく、活動性評価、変位変形が認められないというところに繋がってこないと思えますんで今まさにご説明いただいたことを、補足いただければと思います。
1:48:18	カイダですけども、ちょっと今のページのところで私もちょっと記載ぶりの
1:48:24	観点で御お伝えします。
1:48:27	どこでもいいんですけど 45 ページの一番下のところで、
1:48:32	今、れきの回転による変形はないという書きぶりなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:38	この資料見ても、ずっとその、この一行目を見てもがん編の周辺にとかがん編付近にどうのっていうふうに書いてあって、
1:48:48	そこの最後だけべきっていうのが出てくるんですね、これ
1:48:52	このがん編を指しているのであれば、広告も、がん、がん編とかなんか、おんなじ言葉を使っていたきたいんですけども、
1:49:01	と同じであればそうしていただきたいんですけどよろしいですか。
1:49:06	北陸電力角です。同じことを指してますので、記載の統一を図らせていただきたいと思います。以上です。
1:49:24	カイダです。私の方からちょっと引き続き、
1:49:29	コメント回答のS4、
1:49:31	の
1:49:33	さっきの不明瞭なせん断面とかあの辺の書きぶりを本編。
1:49:38	の方で、
1:49:40	こちらから申し上げさせていただいたのと同じことですので、こっちの方も同じように、
1:49:48	何て言いますか、更新をお願いします。
1:49:52	それではちょっと、
1:49:55	S4のところで、例えば、
1:50:02	どこでもいい。
1:50:08	S4のスケッチとかがある場所の
1:50:15	例えば25ページとかなんですけども、
1:50:22	これ
1:50:24	現地調査の時は断層のがどこまでいってるかっていう話もちろんあったんですけども、
1:50:32	この岩盤の上面がここなのか、ってというような話がいろいろあったりして、
1:50:39	何か現地ではちょっとこうピンが打ってあるところを見るとこう、まさに普通にこう、
1:50:45	ウンウンウンれるべきというか、その
1:50:48	岩盤の何も無いようなところ跨いでこう、
1:50:52	五行線が続くような形の形状でピンが打ってあったりして、ここはちょっと、
1:50:58	検討し見てみますみたいな話もあったと思うんですね。
1:51:04	岩盤の上面の線ってというのは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:08	結局、
1:51:09	変わってないんですかね前の資料んと見てもあんまり、
1:51:14	変わってないように見えるんですけども、
1:51:18	じゃと、当時何か品の場所がここじゃなかったなみたいな話もあったよ うな気もするんですけどその辺との関係をちょっと。
1:51:26	確認させていただきたくて、結局見直したのか見直してないのかちょっ とお教えてください。
1:51:46	えっと保育連絡のキムラです。
1:51:50	関連の上限の1ですけども、我々もそれ、すごい値が正しいかどうかと いう観点で、ブロックサンプリングを実施しまして、
1:52:02	そのC Tの画像を見て、19 ページ 20 ページですね。
1:52:09	それぞれ、
1:52:12	岩盤上面がどこになるかっていうことを検討しております。
1:52:17	C Tでは、岩盤は、
1:52:21	もう少し低密度名倉位敷地を呈するという特徴が見られますし、
1:52:26	その堆積物は、それよりも相対的に明るい色調が見られて、
1:52:31	中には、
1:52:34	利益べき低密度の利益が
1:52:38	突っ込まれたりとか、そういった特徴が見られるということから、区別 できるというふうに判断してございまして、C Tの画像も見て、
1:52:50	現地の
1:52:53	当初のスケッチの、岩盤上年の1、
1:52:58	もう整合的であるということを確認しましたので、これ、このブロック サンプリングの結果をもって、
1:53:07	岩盤上年度内の評価には、変更はないと。
1:53:11	いうふうに評価をしております。以上です。
1:53:20	規制庁のカイダですわかりました。
1:53:23	なのでブロックサンプルのところの範囲はそうなんですけどその周りも 含めて変わってないということで、
1:53:31	なんですか、確認です。
1:53:38	はい。その通りでして、ブロックサンプリング中の周りも含めて、岩盤 上面のうちは変わっておりません。以上です。
1:53:48	カイダですあ、わかりました事実関係の確認できました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:10	はい。規制庁側から確認したいこととして、以上となりますが、江藤最後、コメント回答資料も含めて、全体通して北陸電力の方から何かございますでしょうか。
1:54:28	北陸電力の藤田です。確認ありがとうございました。弊社の方から、追加の確認事項等はありませんので、
1:54:35	ありがとうございました。
1:54:51	はい、お疲れ様でしたそれではヒアリングを終了した、いたしますので、
1:54:56	はい、以上となります。お疲れ様でした。
1:55:01	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。